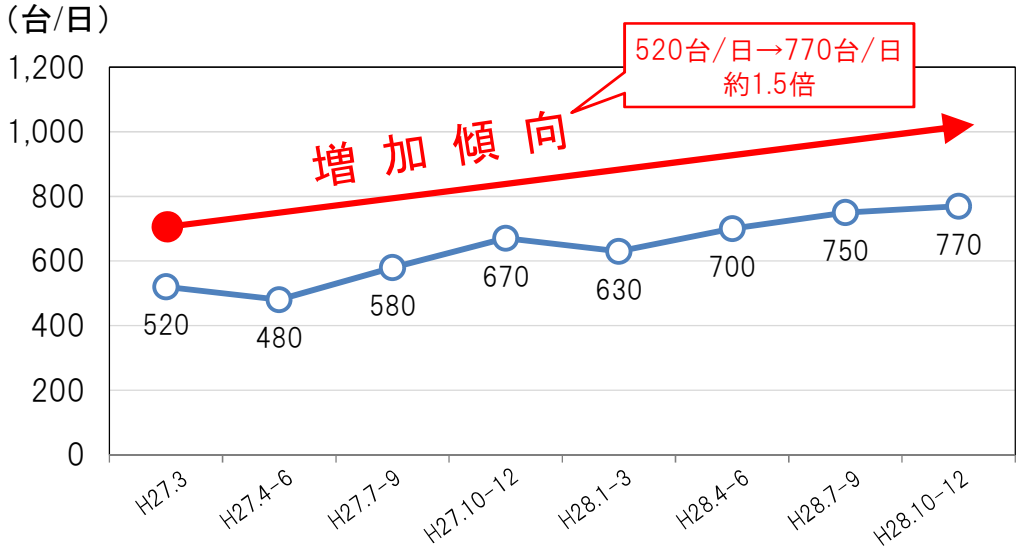
整備効果事例（東海北陸道　南砺スマートIC）：一般道の混雑軽減

本格運用開始　平成27年 3月 1日

■南砺スマートICの利用交通量は、開通当初の約1.5倍に増加。
■南砺スマートICの開通後、南砺市福光地区や福野地区から砺波市・高岡市等へ向かう交通の転換により、東海北陸自動車道の並行路線の混雑時旅行速度が上昇。（40km/h以上に改善）

位置図

南砺スマートICの利用台数の推移



※ 出典：NEXCO中日本提供データ

南砺スマートIC周辺の混雑時旅行速度の変化

※ 出典：H22道路交通センサス・民間プローブデータ（H28.9～11）　混雑時旅行速度

整備効果事例（東海北陸道　南砺（なんと）スマートIC）：救急医療への支援

本格運用開始　平成27年 3月 1日

■南砺市最寄りの第3次医療施設である厚生連高岡病院は能越自動車道高岡ICに近接しており、南砺スマートICの開通により、福野地域を中心に救急搬送の所要時間が短縮。

■救急搬送の迅速化による救命率の向上が図られ、住民の安心な生活を支援。

福野地域と厚生連高岡病院との位置関係

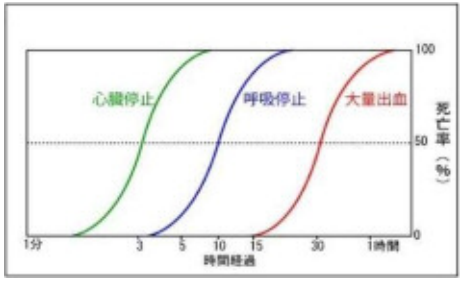
福野地域から厚生連高岡病院への搬送

	距離	所要時間
開通前	21.3km	26.0分
開通後	21.1km	20.3分

3/4に短縮

※出典：民間プローブデータ（H28.9～11 非混雑時旅行速度）

搬送時間が短くなることで、救命率の向上が図られる



※出典：カーラーの救命曲線

写真　厚生連高岡病院

整備効果事例（東海北陸道　南砺（なんと）スマートIC）：地域の活性化

本格運用開始　平成27年 3月 1日

■南砺スマートIC周辺には従業員100人を超える大企業が立地しており、これら企業の高速道路ネットワークへのアクセス性が向上し、設備を増設した企業が増加。

■東海北陸自動車道の付加車線設置等の機能強化により、更なる利便性の向上、企業活動の活性化が期待。

■南砺市内には多くの観光資源が広く点在しており、南砺スマートICの開通により、観光客の増加を支援。

南砺スマートIC利用者の声

運送会社へのヒアリングより

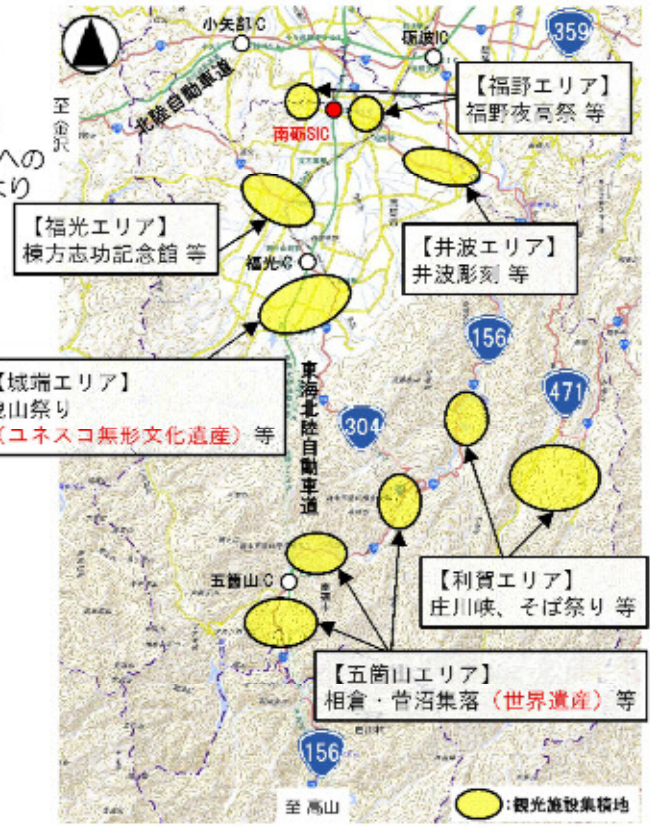
■高速道路へのアクセス時間が短縮され、事業の効率化に繋がっています。

■東海北陸自動車道の付加車線設置により、渋滞のないよりスムーズな通行に期待しています。

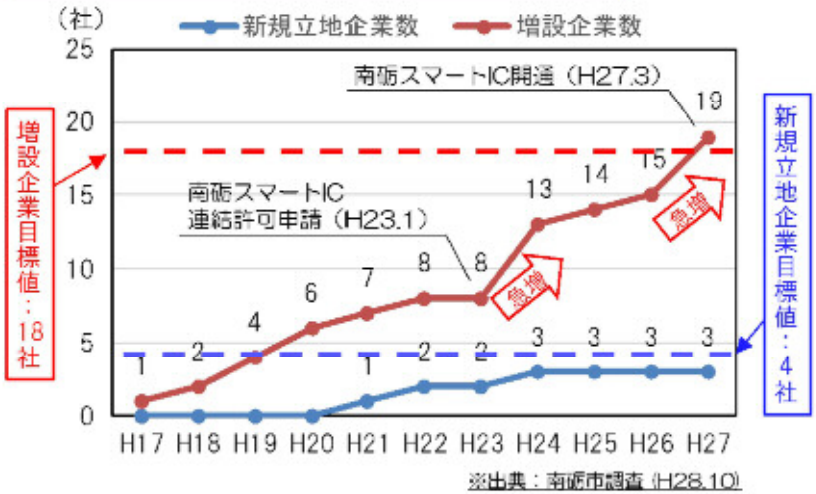
橋梁メーカーへのヒアリングより

■南砺スマートICができたことにより、高速道路へのアクセスが向上し、特に名古屋方面や能登方面間の移動が便利になりました。

南砺市の観光地の立地状況



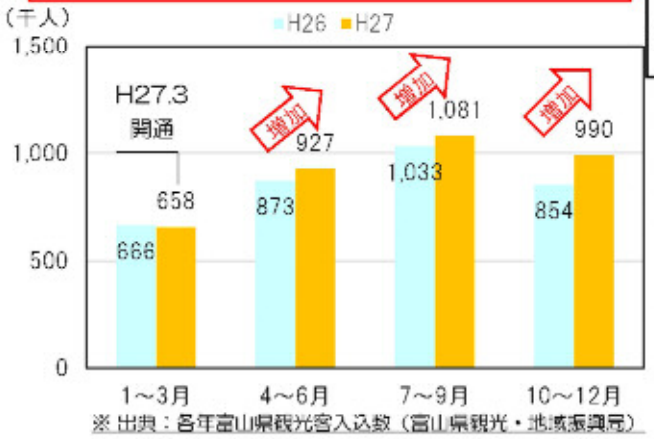
南砺市の立地企業、増設企業数の推移



※出典：南砺市調査（H28.10）

南砺市の観光客数の変化（四半期別）

南砺スマートIC開通後は、観光客が前年度より増加



※ 出典：各年富山県観光客入込数（富山県観光・地域振興局）

東海北陸自動車道南砺スマートＩＣの事業概要

とうかいほくりく　なんと

◆ 事業目的

◎ 高速道路アクセス環境の向上
◎ 一般道の混雑低減
◎ 救急医療への支援
◎ 地域活性化への支援

◆ 事業概要

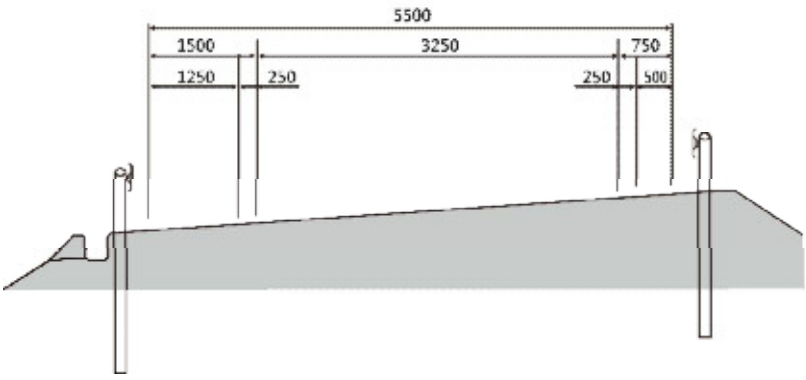
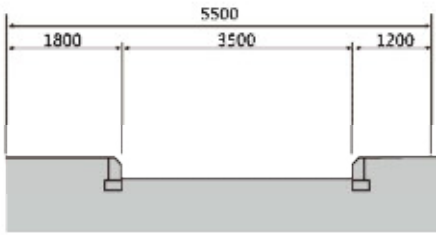
整備位置	福光インターチェンジと小矢部砺波ジャンクションの間
連結形式	高速道路直結型
利用方法	フルアクセス（上下線ともに入口・出口として利用可能）
通行できる車両	ＥＴＣを搭載した車両
運用時間帯	２４時間
事業期間	平成２３年度～平成２６年度
総事業費	約２５億円
施工主体	ランプ部／中日本高速道路株式会社 一般県道安居福野線／富山県 市道南砺スマートインター線他／南砺市

◆ 事業の経緯

平成２１年　７月	第１回東海北陸自動車道南砺市スマートＩＣ地区協議会（協議会設立）
平成２２年１０月	第２回東海北陸自動車道南砺市スマートＩＣ地区協議会（実施計画書の同意）
平成２３年　１月	国土交通大臣に連結許可申請
平成２３年　３月	国土交通大臣から連結許可
平成２３年　６月	南砺市、中日本高速道路㈱により基本協定締結
平成２４年　８月	事業用地の買収着手
平成２４年１０月	南砺市が付け替え市道の工事契約締結
平成２５年　１月	中日本高速道路㈱が工事契約締結
平成２７年　２月	第３回東海北陸自動車道南砺市スマートＩＣ地区協議会（供用開始に向けて）
平成２７年　３月	供用開始

◆ 標準断面図

一般部



一旦停止型 ETC ゲート部